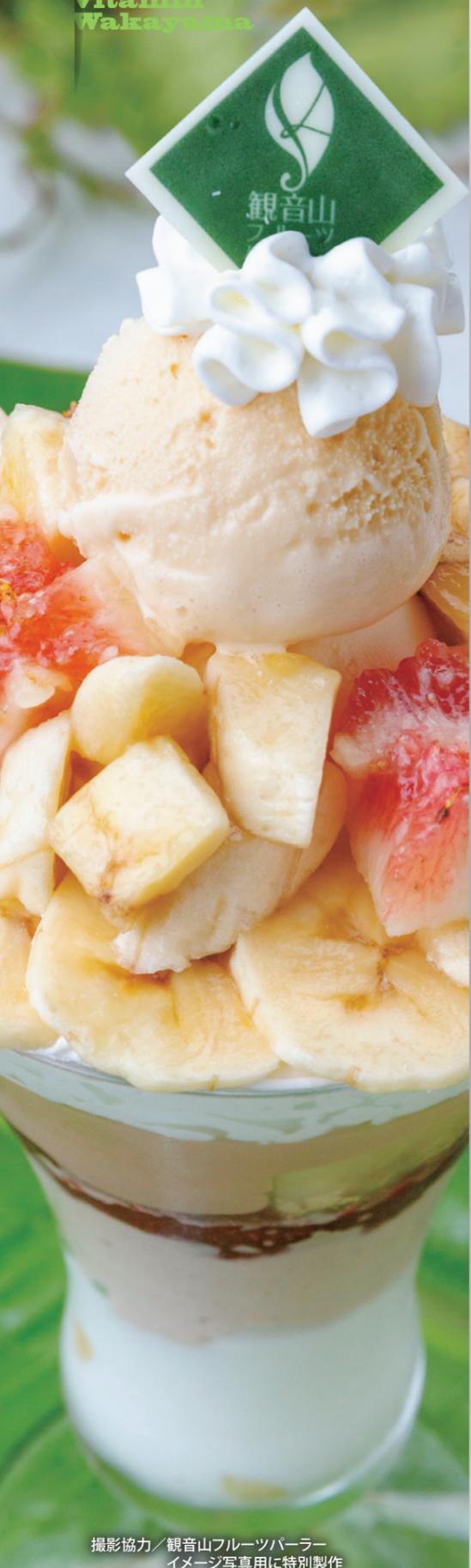


Vitamin
Wakayama



撮影協力/観音山フルーツパーラー
イメージ写真用に特別製作

ついに和歌山でバナナ？ 露地栽培で特産品化を目指す

フルーツ王国とよばれる和歌山。なかでも紀の川沿いの紀北地域は、水捌けの良い地質に穏やかな気候で、特に紀の川市はバナナとパイナップル以外、どんなフルーツも採れるといわれていた。そんな紀の川市に、西野仁さんが横浜市から移住してきたのが11年前。当初は一般的な野菜などを栽培していたが、2018年からバナナの栽培にも挑戦している。

「バナナといえば熱帯で採れる果物ですが、栽培しているのは耐寒性のあるアイスクリームバナナです」と語る。しかし温暖な和歌山とはいえど、冬はそれなりに寒い。本来、ビニールハウスでの栽培が望ましいが、初期費用と維持管理費用を考慮し、露地栽培に決めた。さらに自然農法にもこだわる。「気候風土の違いからか、日本では深刻な被害を与える害虫も少なく、消毒の必要もありません。だから、バナナは自然栽培向きの果

実かもしれません。農薬を使用していないので、皮まで食べられるんですよ。チャレンジするからには希少価値のあるモノを栽培し、高値で取引されるような新しい特産品にしようと考え。さらに前職時代、24時間運用可能な関西国際空港に輸出され、いろいろな商品が輸出されていくのを見た。農地が関空の近くなら、収穫したその日の深夜便に載せ空輸することができると。翌朝にはアジア圏のスーパー

に、日本の高品質な農産物を並べられることに気づいた。「東京で開かれた新規就農者フェア（現新・農業人フェア）に参加し、関西国際空港へのアクセスがよい和歌山県紀の川市に移住を決めました。これからはバナナだけでなく、アジア圏向けの野菜や果実も栽培していきたいと思っています。」

小さな農園に、大きなバナナの葉が生い茂る。チャレンジは今、始まったばかりだ。



観音山フルーツパーラー 銀座店
観音山フルーツガーデンが運営するフルーツパフェの専門店。行列を作るほど大成功を収めた和歌山県紀の川市にある店舗の味をそのままに多店舗展開。2021年10月に東京へ進出し、1号店として銀座店、引き続き11月に表参道店をオープン。
住所/東京都中央区銀座4丁目10-5
東急ステイ銀座1F
電話/03-6264-2684
営業時間/平日:12~19時(ラストオーダー18:30)
土日祝:11~18時(ラストオーダー17:30)
定休日/無休(年末年始を除く)



バナナの花であるバナナハート。中心部にある白くて柔らかい部分が蕾で、開花後、花の付け根にバナナの実がなり大きく成長する。



「下草を刈るぐらいで、肥料として鶏糞を与えるだけで消毒もしません。自然栽培は難しい試みですが、バナナの付加価値をあげることができるのでは?と考えています。研究はまだこれからです。」

ファームウエスト 代表 西野仁

住所/岩出市西野194-4
電話/070-5569-9048
農園地/紀の川市

バナナの健康ポイント

カリウムは、体液の浸透圧を調整して一定に保つ働きがあり、高血圧予防になります。食物繊維は、糖の消化・吸収を遅れさせ、食後の血糖値の上昇を抑制したり便秘を予防します。

別名 Blue Java banana と呼ばれるアイスクリームバナナ。一般的なバナナの実に比べ、小さく太いのが特徴。味は若干酸味があり、果肉は柔らかく、その名の通りアイスクリームのようなソフトな食感。凍らせるとアイスの代わりとしても食べられるほど。



「木と思われがちですが、バナナは多年草の一種で、1本の茎から一度しか実が採れません。幹のように見える部分は葉が何層にも重なったもので、今はバナナハートと呼ばれる蕾は手の辺りにあります。」